

これまでにがん化学療法の栄養指導を受講された患者さんへ 【過去の治療データの調査研究への使用のお願い】

東近江総合医療センター栄養管理室では「がん悪液質に対する新規治療薬アナモレリン薬物療法への管理栄養士の関わりの重要性」という臨床研究を行っております。この研究は、アナモレリン服用により食事摂取量改善や体重・身体機能測定値の変化等を調べることを主な目的としています。そのため、過去にがん化学療法中に栄養指導を受講された方のうち、アナモレリン服用となった患者さんのカルテ等の治療データを使用させていただきます。

以下の内容を確認してください。

○この調査研究は東近江総合医療センター倫理委員会で審査され、院長の承認を受けて行われます。

研究期間

院長の研究実施に関する決定通知発行後 ～ 2022年5月31日まで

対象調査期間

2021年7月1日 ～ 2022年5月31日まで

- 今回の調査研究の対象はこれまでにがん化学療法中に栄養指導を受講された方のうち、アナモレリン服用となった患者さんのカルテ、臨床検査値です。
- 過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。
- 使用するデータは、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。
- 調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。
- 調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は東近江総合医療センターに帰属し、患者さんには帰属しません。
- この調査研究は、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

もし、今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、いつでも構いませんので、お手数ですが下記の問い合わせ先まで連絡ください。

また、同意の有無が今後の治療などに影響することはありません。

【問い合わせ先】

国立病院機構 東近江総合医療センター

栄養管理室 管理栄養士 研究代表者：畠中真由

TEL : 0748-22-3030 (代)

FAX : 0748-23-3383 (代)